



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学報

2024.7.10 Vol.181

三蔵五訓

真理を探究し、道理を实践する。
 豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
 生命を尊重し、自然を畏敬する。
 個性を伸展し、紐帯性を培う。
 未来を志向し、可能性に挑む。



海洋生物科学科棟／医療薬学教育センター

揺るぎなく前進！

卒業生の就職状況及び充実した就職支援	1
卒業生のコメント	2
新入生へのメッセージ	3
学内トピックス	5
研究活動	9
学内人事	11
財務状況	13
入学試験の概要	15



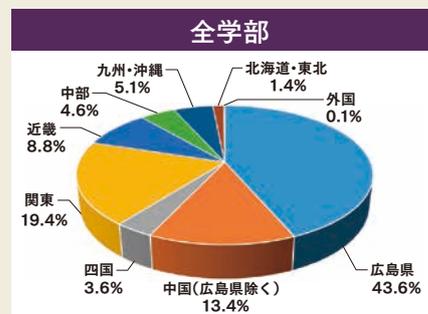
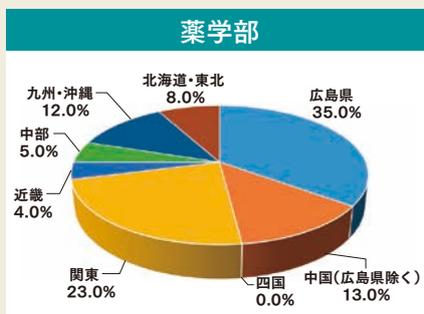
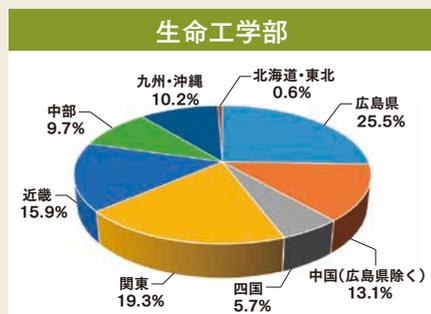
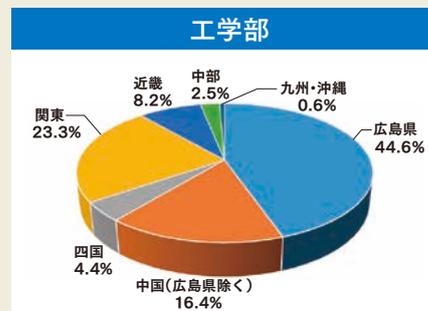
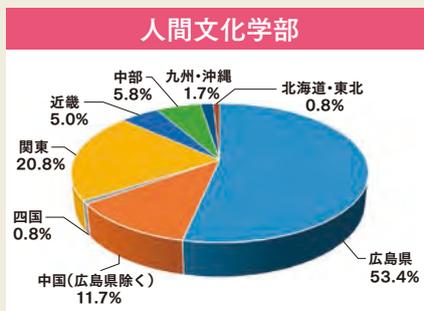
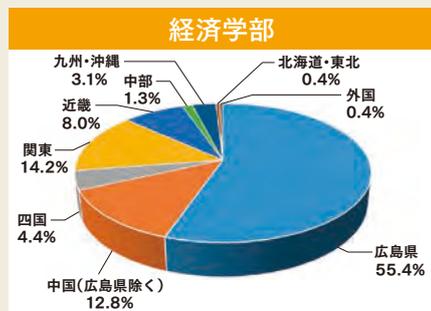
令和5年度の就職状況

令和5年度に福山大学が受付けた求人は2,867事業所からでした。就職情報サイトのWEB募集等を加えれば、例年通り安定した求人数を維持しています。また、令和5年度における卒業生の就職率は99.7%で、広島労働局が公表した県内大学生就職率の96.6%を大きく上回っています。また、文部科学省が公表した全国の大学の就職率は98.1%で、福山大学の就職率の高さが窺えます。

福山大学において就職を希望する学生の就職率はほぼ100%で、この状況は過去10年間以上続いています。

令和5年度卒業生の地域別進路状況は、広島県を中心とした中国地方が最も多く、続いて関東、近畿、九州、中部、四国、北海道、東北の順になっています。各学部・全学部の状況は、下記のとおりです。

令和5年度 地域別進路状況



福山大学独自の就職支援の取り組み

本学では、学生一人ひとりが少しでも希望する職業に就けるよう、ゼミ担当教員を中心に各学部・学科から選出された就職委員や就職課職員が一体となった独自の下記プログラムによる就職支援を行っています(令和5年度実績)。

国家検定「キャリアコンサルティング技能士1級」保有の職員が行う就職相談や面接練習は、学生の希望する日時に随時対応しています。また、個別指導としては、学生が希望する職種・業種・企業名について進路希望票を提出させて、ゼミ担当教員や就職課職員が確認したうえで適切な指導・支援を行っています。教職員が一丸となって、一人の学生に対し多方面から一貫性のある就職支援を可能にしています。

さらに、学生は学内ネットワークのWEB就職システムを利用し、大学で受け付けた求人票を学内だけでなく自宅からでもパソコンやスマホを使って閲覧・検索が可能です。

また、就職活動においても説明会や面接をWEBまたは対面にするなど、目的や状況に合わせて使い分ける企業も増えてきました。そのため、本学においても、WEBでの就職活動に対応した様々なセミナーを実施し、さらに、これまで通りの対面や電話・メールでの相談だけでなく、WEBによる相談対応も実施しております。今後も、学生一人ひとりの気持ちに寄り添いながら就職支援を続けていきます。

令和5年度実績

1. 就職ガイダンス

- 第1回就職ガイダンス:5月
これからの就活と自己分析
- 第2回就職ガイダンス:6月
履歴書の書き方と自己PR作成
- 第3回就職ガイダンス:7月
業界研究・企業研究
- 第4回就職ガイダンス:7月
WEB模擬テスト完全解説
- 第5回就職ガイダンス:10月
働くこと、労働法について
- 第6回就職ガイダンス:10月~12月
就職体験発表会
- 第7回就職ガイダンス:11月
就活の基本と社会人のマナー
- 第8回就職ガイダンス:11月
卒業生による業界説明会
- 第9回就職ガイダンス:1月
求人票の見方・企業選びの基準

第10回就職ガイダンス:2月
業界説明会の回り方

2. 就職試験等対策

- 就職模擬テスト (WEB・マークシート)
- SPI講座 (WEB) (専門講師)
- 自己PR作成講座 (WEB、対面)
- 小論文・作文講座 (WEB、対面)
- エントリーシートの書き方 (WEB、対面)
- 身だしなみ講座 (対面)
- 履歴書・エントリーシートの個別添削 (WEB・対面)
- 面接(個人・集団)対策 (WEB・対面)
- グループディスカッション対策 (対面)

3. 学内合同企業説明会および業界説明会

- 5月 6年生薬学対象 全国から125社参加
- 9月 4年生対象 全国から 94社参加
- 9月 4年生対象 広島県中小企業家同友会との合同10社参加
- 12月 3年生機電系学部対象 全国から 35社参加

- 12月 3年生建築学科対象 全国から 90社参加
- 2月 3年生・留学生対象 全国から419社参加

4. 企業個別説明会

本学学生のために企業を招き、個別の会社説明会を開催

5. 保証人との就職懇談会

- 4月 地方会場
経済学部・人間文化学部・工学部・生命工学部4年対象
- 4月 薬学部6年対象
- R6年1月
経済学部・人間文化学部・工学部・生命工学部3年対象

6. 就活相談

- ・国家検定「キャリアコンサルティング技能士1級」保有職員による相談対応
- ・ハローワーク福山
- ・ジョブサポーターによる就職支援

卒業生のコメント

八谷 麻衣 経済学部経済学科（令和6年3月卒業） 就職先：福山市



私が皆さんに伝えたいことは、自分の限界を決めずに挑戦することの大切さです。3年生から本格的にゼミが始まり、私は仲間と様々な活動に取り組みました。人前で話すのは得意ではなく、大勢の前でプレゼンをしたこともなかったのですが、キャンパス見学会やローカルジョブサミットに参加し、高校生や他大学の学生、企業の方の前で、司会進行や代表としてプレゼンをしたことは良い経験となりました。

三蔵祭ではゼミで出店し、同級生だけでなく先輩や後輩とも仲を深めることができました。卒業論文では福山市

の不登校児童生徒を取り巻く現状と課題、取組みについて考察しました。柔軟に方向性や構成を修正し、何度も取材を繰り返したことが評価され、学部長賞を受賞できたことは大きな自信となりました。

ゼミの活動を通して培った自主性や主体性、スキルは就職活動や社会人になっても活かせます。先生や仲間との時間を大切に、楽しく充実した大学生活を送ってください！

廣瀬 健人 人間文化学部メディア・映像学科（令和6年3月卒業） 就職先：学校法人福山大学



私は、皆さんに「常に先を見据えて行動すること」を心掛けてほしいと思います。私は3年生の頃、学業・三蔵祭運営委員長・アルバイトの3つを同時に行っていました。これら全てを両立するために、スケジュール管理と広い視野を持ち、常に先を見据えて行動することで最後までやり遂げることができました。

私はまだ入職したばかりですが、広報関係など一度に複数の仕事を抱えている状況では、これまでの経験が役立っていると実感しています。今後、学生生活で培った力を活かしながら、挑戦し続けることを忘れず自己成長につなげ

ていきたいと思っています。

以上のことから、皆さんには常に自分の未来を考え、様々なことに挑戦して成長して欲しいと思っています。時には困難に直面し、不安になる時があるかもしれませんが、出会った仲間を頼りながら、明るい未来に向かって歩んでほしいと思います。皆さんの今後のご活躍を陰ながら応援しています。

鈴木 颯希 工学部機械システム工学科（令和6年3月卒業） 就職先：リョービ株式会社



私は、製造業界で研究開発や設計の仕事がしたいと思い、まず、本やインターネットで情報収集を行いました。そこで、私が就職活動において皆さんに伝えたいことは、何を「軸」にして就職活動を行うかです。「軸」とは、妥協できない点、その企業に入った後の自分の働く姿が想像できるかどうかだと思います。説明会や面接では積極的に質問してみてください。しかし、質の高い質問でなければ意味がないと考えています。福利厚生や一日の仕事の流れなどを知りたいのは山々ですが、企業の将来像や競合他社にはない強みや社会の中での位置づけなど、説明会

では話されなかった企業側の課題や問題点をいかにうまく聞き出すかがポイントだと考えます。質問から得た情報は、志望動機を語る中で非常に役に立ちます。また、就職活動していく中で、不安感や挫折など必ず経験すると思いますが、家族や友人が後押ししてくれます。一人で乗り越えられるものではなく、むしろ多くの人に支えてもらって初めて乗り越えられるものだと思います。充実した大学生活を送ってください。

高見 帝我 生命工学部海洋生物科学科（令和6年3月卒業） 就職先：みなとやま水族館



これから就職活動をする皆さんに、伝えたいことがあります。私は水族館での就職を目指していましたが「自分でやりたいこと」を「具体的」に考えてください。特に水族館では、魚を飼育しただけでは務まりません。水族館の方向性は研究・教育・保全・娯楽など様々です。その中で、自分がやりたいことを明確にしてください。そして、その熱意を履歴書や面接で伝えることができれば、採用に近づくとあります。普段から水族館を意識して、授業を受けるようにしてみてください。

私の周りで水族館に就職した人は2つのタイプがいまし

た。「他を圧倒する知識・実力がある人」と「諦めず、周りからも認められる努力をした人」です。私は3年生の時点で知識も技術も周りに比べて劣っていたため、後者でした。そのため、4年生では水族館の業務や、それに繋がることは何から何まで手を出していたと思います。水族館への就職も、諦めない限りチャンスはあります！頑張ってください！

花田 実夢 薬学部薬学科（令和6年3月卒業） 就職先：北九州市立医療センター



私は今、5年生の時に実務実習を行った病院で働いています。実務実習に行くまでは薬局志望でしたが、実習を経てこの病院の薬剤師の方々と一緒に働きたい!と思い就職を決めました。働き始めたばかりでわからないことばかりですが、質問すると丁寧に教えていただける、とても恵まれた環境で働くことができています。たくさん経験を積み、患者さんや多職種の方に信頼していただけるような薬剤師になれるよう日々勉強中です。

学生の皆さんは、就職活動を行っていく中で自分が何をやりたいのかわからなくなってしまう時もあるかもしれませ

ん。実務実習だけが全てではないですが、自分が就職先に求めるものが何であるのか、探することができるのではないかと私は思います。

5年生、6年生は一瞬で過ぎ去ります。実務実習、就職活動、課題研究、薬剤師国家試験と多くの試験が待っていますが、どうか友人と過ごす日々を大切にしてください。苦楽を共にした友人は、かけがえのないものとなります。

最後に、皆さんの大学生活が充実したものになりますように。応援しています。

新入生へのメッセージ

経済学部 視野を世界に向け、大学で何を学ぶのか、自由な皆さんが選ぶ選択です

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

満開の桜に囲まれた入学式を終え、対面授業を基本とした前期授業も開始されました。皆さんの先輩達を迎え入れる際



には、新型コロナウイルス感染症に起因した制約で、教務やキャンパス生活の選択肢も限られました。今年度入学の皆さんには、これらの制約を課すことなく、本来のキャンパス活動を自由に行って頂けることを本当に嬉しく思います。

一方、34年ぶりの円安、物価高等々これまでとは異なる社会経済事象に遭遇します。5月の大型連休に久し振りに海外旅行する人が、米国で昼食に食べたハンバーガー 1個が2,000円という値段に驚いたとのニュースも流れました。このような為替変動要因の原因は何なのか、逆にベトナム旅行に行くと現地通貨ドンに対しては円高で、米国とは全く状況は異なります。これらを考える際に経済学はとても役立ちます。視野を世界に向け、これから大学で何を学ぶのか、自由な皆さんが選ぶ選択です。

経済学部長 楠田 昭二

人間文化学部 人間とは？文化とは？

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活はどうでしょうか。大学の講義は、これまでと違って戸惑いもあるでしょう。しかし、これまでになく自由にできる時間を存分に楽しんでほしいと思います。

人間文化学部の3つの学科は、それぞれ研究方法は違いますが、結局は「人間とは何か、どうあるべきか」「文化とは何か、なぜ重要なのか」を考える学科だと思えます。

金儲けや、コスパ、タイパなど無視して、人間の本质や人生どうあるべきかをじっくりと考え、今後の人生の指針を確立する4年間にしてほしいと思います。

まずは、身近な、最も気になる、あるいは、大好きなことを徹底的に追求してください。そして疑問や不安があれば、専門家に聞いてください。専門家=教員にすぐに相談できることが大学の一番の利点です。教員だけでなく、友人も、先輩たちもきっと研究の同志となってくれます。

さあ、始めましょう。
人間とは？文化とは？
あなたの考えは？

人間文化学科長
重迫 隆司



工学部 工学部での学びと成長

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ここでは、皆さんの夢の実現に向けた学びと成長の機会が待っています。

大学では、専門性を深く極めるために自主的に学ぶこと



が求められ、仲間と協力しながら、人間的にも成長することが大切です。工学部のカリキュラムは、工学の基礎から最新技術まで幅広い分野をカバーしており、実践的な学習機会も多く用意されています。これらを通じて、最新の知識を学び、問題解決スキルを身につけることができます。工学部での学びは、将来のキャリアにつながります。エンジニアは産業の発展を支える重要な役割を担っており、皆さんが学ぶ知識やスキルは、社会のニーズに応える実力となるでしょう。

工学部での学生生活では、好奇心を持って学びに取り組み、仲間と協力しながら成長してください。教職員一同、皆さんの可能性を信じ、サポートしていきます。工学部で学び、未来を築いていきましょう。

情報工学科長 金子 邦彦

生命工学部 生き物を学ぶこととはなにか

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

生命工学部の皆さんは、興味のある生き物(ヒトも含めて)は様々ですが、生命の不思議に魅入られて入学を希望されたと思います。

生物学も科学である以上、様々な生命現象から法則性を見出し、それを応用できるようにするのが最終的な目的です。しかし、物理学や化学などと異なり、生物学には「〇〇の法則」や「〇〇の原理」などよばれるものがあまりないことに気づくでしょう。その理由は、生物の生き様は千差万別であり、ある生き物で正しいと思えることが、他の生き物では必ずしも正しいと限らないからです。生物が生きていく戦略は一つではなく、100の生き物がいれば100通りの生き方があります。それを一つずつ明らかにしていくことが、生命を明らかにする王道だと思いますし、自分が興味のある生き物に優劣は無いと思います。皆さんがこの4年間に、自分なりの“推し”の

生き物を見つけてくれることを期待しています。

海洋生物科学科 高村 克美



薬学部 将来の自分をイメージして、日々、学んでください

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

少しは、大学生活に慣れたでしょうか?高校とは異なり、90分



の授業時間、内容の難しさ、進むスピードに戸惑いがあると思います。薬学部では、国家試験という最後の難関が待ち構えています。これを突破するためには、日々の学習が重要になってきます。授業前の予習および授業後の復習を行い、その都度、学んだ知識を定着させるという作業の繰り返しが大事です。試験前の一夜漬け勉強では、合格点を取ることが難しいことを肝に銘じておいてください。また、グループワークを取り入れた授業では、グループ内での意見交換によって自分の意見をまとめ、人にわかりやすく伝える能力が養われます。これは将来、患者さんや他の医療スタッフとのコミュニケーションを行う上で大切です。さらに各種の実習や卒業研究を通して技能を習得していきます。

日々の授業で得られる知識、技能が将来の自分にどのように関わってくるかを意識して学ばれることを期待します。

薬学科 本屋敷 敏雄



2023年度薬剤師国家試験結果 — 高い薬剤師養成率 — !

第109回薬剤師国家試験が2024年2月17-18日に実施され、薬剤師を目指す本学の6年生(現在は卒業生)が挑みました。この第109回薬剤師国家試験の合格発表については、2024年3月19日に厚生労働省より公表され、本学の受験者数に対する合格率は73.58%でした。また、6年生の在籍者数(受験出願者数)に対する合格者の割合は70.3%でした。これは、福山大学を含めた中国四国地区私立大学6校の平均合格率である61.0%を大きく上回っており、これらの私立大学の中で福山大学が1位の合格率でした。

これまでの6年制薬学教育における本学薬学部の薬剤師養成率は、通算で80.3%です<2006年度~2018年度の総入学生数(1,759名)に対する薬剤師国家試験合格者数(1,413名)の割合>。中国四国地区・九州地区の私立薬系大学の中においても高い薬剤師養成率であり、本学薬学部が高い教育力を誇るとともに、地域医療の発展に貢献してきました。

薬学部は、1982年の開設時より40年以上にわたり日本で最初の「医療薬学教育の実践」を教育理念とする薬学部として、これまでに5,000名を超える数多くの薬剤師を養成してきました。広島県薬剤師会に登録される薬剤師の出身大学では、福山大学がトップで15%以上を占めており、広島県を中心に全国各地で薬剤師として活躍しています(2024年3月時点)。

この高い薬剤師養成率は、本学の長年にわたり培われてきた



薬剤師国家試験に挑んだ6年生

教育支援体制とともに、医療薬学教育のための「医療薬学教育センター」や、薬学研究を推進するための「未来創造館(薬学研究エリア)」などの充実した教育研究施設、そして何よりも基礎科目から医療実践に関わる専門科目を6年間かけて直向きに頑張ってきた学生達の努力の賜物であると考えています。

今後も、薬学部は、一人でも多くの学生が薬剤師として活躍できるよう支援していきます。

薬学科 教授 井上 裕文



医療薬学教育センター



未来創造館

進化しつづける地元企業との連携授業「地域調査」

「地域調査」は、2017年度からスタートした地元企業との連携授業です。具体的には、地元企業((株)プレヒまわり、(株)エブリーホームホールディングス)の協力を受け、企業訪問や企業担当者の話を聞きながら企画を立案するなどの実践的な授業です。

授業のスタートから7年、「模索期」(2017~19年度)、「受難期」(2020~22年度)を経て、2023年度からは、「飛躍期」に差し掛かっていると感じています。「模索期」は、連携企業と福山大学が新しい取り組みを始めるに当たり、学生の関心などを捉え、授業の企画・内容を改善していく時期でした。「受難期」は、新型コロナウイルス感染症拡大のために、これまでの連携方法の根本的な転換が求められる時期でした。

ポストコロナの2023年度以降「飛躍期」では、前期授業にて、「学生のみなさんがエブリー社の社員なら、どのように会社を発展させますか!？」という具体的課題に取り組みました。さらに、後期授業では、プレヒまわり社の協力の下、「ビジネスモデル(マーケティングや経営戦略、顧客の消費行動などの事業の成り立ち)を学生自らが考案する」ことに挑みました。

このように、地元企業と共に挑戦し進化しつづける「地域調査」は、学生の意欲的な学びを確保するため、大いに学べる授業の企画・内容を練り上げています。

税務会計学科 教授 張 楓



全国サイバー防犯ボランティア意見交換会への参加と西藤小学校でのサイバー防犯教室の実施!



全国サイバー防犯ボランティア意見交換会議の様子



尾道市立西藤小学校でのサイバー防犯教室の様子

心理学科の有志の学生で構成されるCyPat FU(サイパットエフユー)は、広島県警察サイバー犯罪対策課から委嘱を受けてサイバー防犯活動を行う団体です。サイバーパトロールや広報啓発活動、サイバー犯罪被害防止のための教育活動を積極的に行っています。2023年9月22日に全国サイバー防犯ボランティア意見交換会議に参加、同月28日には尾道市立西藤小学校でサイバー防犯教室を実施しました。

全国サイバー防犯ボランティア意見交換会議は、警察庁主催で全国のサイバー防犯ボランティア団体がオンライン上で一堂に会する会議です。全国の警察代表も集まるため、発言には大きな緊張が伴う状況でしたが、当時の副代表の迫里奈さん(2023年度卒業)が、学生ボランティア団体の中で最初に発言し、CyPat FUの存在感を示してくれました。

尾道市立西藤小学校では、2023年度は2度のサイバー防犯教室を行いました。何度も練習した甲斐があって、児童から積極的に手が挙がり、後半に行った標語作りも真剣に取り組んでくれました。楽しくインターネットの使い方を伝えることができ笑顔が絶えない大いに盛り上がる講義となりました。

CyPat FUは、今年度も様々な活動を展開する予定です。お楽しみに!

心理学科 准教授 大杉 朱美

3年連続の応用情報技術者試験合格者，2年生での合格者も！

情報工学科では大学の支援のもと，学生に資格取得のサポートを行っています。

- 合格者に対する受験料の支援(情報処理技術者試験は半額)
- 資格関係科目の単位認定
- ITパスポート試験のe-learning教材の提供

2023年度は，情報処理技術者試験において延べ26名が合格しました。情報処理技術者試験は，「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が，情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験です。合格者の内訳は，ITパスポート試験が19名，基本情報技術者試験が5名，応用情報技術者試験が2名でした。情報処理技術者試験の延べ資格保有在学生数が，過去最高の74名に達しました。

難易度が高い応用情報技術者試験の合格者は2021年から3年連続です。2023年4月に行われた春期試験で，応用情報技術者試験に現大学院1年生(当時4年生)の小山惇之介さん，2023年10月に行われた秋期試験で，応用情報技術者試験に現3年生(当時2年生)の伊藤潤平さんが合格しました。

応用情報技術者試験合格の伊藤さんからのひとこと：

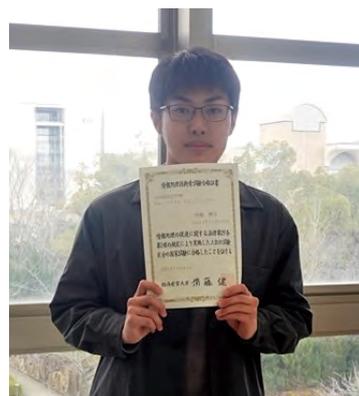
「無事合格出来て良かったです。これからもプログラミングサークルの活動をはじめいろんなことにチャレンジしていきたいです。」

伊藤さんは，2年生での合格で学内では最も早い合格者となります。本当におめでとうございます。

情報工学科 講師 森田 翔太



小山 惇之介さん



伊藤 潤平さん

因島のアマモ場ブルーカーボン研究 種まき実験を実施！



種子をつけたアマモの採取



設置した種子マットの調査

アマモ場は，二酸化炭素を吸収して炭素を貯留する「ブルーカーボン」の1つであり，温室効果ガスの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現に貢献するものとして，近年注目が高まっています。

福山大学では，ブランド研究「瀬戸内の里山・里海学」を推進し，瀬戸内海の環境保全や持続可能な社会の構築を目指しています。海洋植物科学研究室では，2022年度から地元企業の株式会社トロムソと共同で，因島キャンパス前の海岸でアマモ場再生を目指した研究を開始しました。初年度は，アマモの現地観察や室内実験をとおしてその特性を把握することに努め，2023年度には，いよいよ海岸での造成実験を実施しました。初夏には因島で教員と学生，トロムソ社などいくつかの企業の方々が参加して，種子をつけたアマモの採取を行いました。その後，アマモは水槽に入れて熟した種子が落ちるのを待ち，集まった1,500個程の小さな種子を学生が手作業で丁寧に選別しました。その冬には，種子が流されないように麻マットに挟みこむ方法で，海岸に種子をまきました。翌年，マット上に小さなアマモの芽生えがあるのを見た時には，素直に感動しました。

これからも藻場再生の取り組みをとおして，瀬戸内海の環境の保全や，海を守る地域のネットワークを広げることに貢献していきたいと思います。

海洋生物科学科 教授 山岸 幸正

第13回「福山大学の桜」ミニフォトコンテストを実施！

自然豊かな春のキャンパスの風景をテーマに、第13回「福山大学の桜」ミニフォトコンテストを開催しました。今年はやや遅い開花となったことも幸いし、新入生を含む多数の応募をいただきました。投票対象61作品についてセレッソ上で展示を行い、学生と教職員による投票審査により各賞受賞者が決定いたしました。

最優秀賞に選ばれた撮影者のコメントには、「1番注目してほしい手前の桜にピ

ントをあてて後ろの背景はぼかして撮影しました。ベンチに木漏れ日があたって優しい雰囲気になるように意識しました。」とあります。淡い桜色に優しく包まれたベンチが印象的なこちらの作品が、多くの支持を得て最優秀賞受賞となりました。

投票には、「綺麗な写真がたくさんあって悩みました」「同じ桜でもカメラや場所が違うことで、こんなにも様々な景色が撮れるのだと感動しました」など様々

なコメントが添えられていました。本コンテストを通じてキャンパスの魅力を再発見するとともに、皆さんの心が和み、日常のささやかな喜びを共有できる場となれば幸いです。

応募及び投票に参加くださった皆さん、コンテスト開催にご尽力いただきました関係部署の皆さんに、心より感謝申し上げます。

学生委員長 鶴崎 健一



最優秀賞「春の訪れ」
人間文化学部メディア・映像学科 2年生
吉川 和花 さん



優秀賞「一期一会 忘れ花」
人間文化学部人間文化学科 交換留学生
SUN YEXUAN さん



さくら賞「雨と桜」
人間文化学部心理学科 1年生
村上 心優 さん



さくら賞「届け」
人間文化学部メディア・映像学科 1年生
佐藤 凌 さん

令和6年度 福山大学学生表彰について

令和6年度「学生表彰」(学業成績優秀者)については、以下の39名が表彰されました。おめでとうございます。

学務部 学生課

令和6(2024)年度 学生表彰 一覧表

学長賞【学業部門】

学部	学科	学年	氏名
経済学部	経済学科	2年	織田 姫歌
経済学部	国際経済学科	2年	溝入 愛華
経済学部	税務会計学科	2年	佐々田 祭
人間文化学部	人間文化学科	2年	廣兼 澄恋
人間文化学部	心理学科	2年	迫田 綾香
人間文化学部	メディア・映像学科	2年	瀧口 倅太郎
工学部	建築学科	2年	転堂 夏妃
工学部	情報工学科	2年	秋田 遥香
工学部	機械システム工学科	2年	新田 侑生
生命工学部	生物科学科	2年	錦織 大介
生命工学部	健康栄養科学科	2年	内島 早智
生命工学部	海洋生物科学科	2年	仲嶺 愛祈
薬学部	薬学科	2年	本田 くるみ
経済学部	経済学科	3年	藤原 知哉
経済学部	国際経済学科	3年	NGUYEN THU THUY
経済学部	税務会計学科	3年	石部 優来
人間文化学部	人間文化学科	3年	加藤 彩羽
人間文化学部	心理学科	3年	藤原 千鶴
人間文化学部	メディア・映像学科	3年	角 遥名
工学部	建築学科	3年	大土井 彪
工学部	情報工学科	3年	野村 佑哉

学部	学科	学年	氏名
工学部	機械システム工学科	3年	楠瀬 智也
生命工学部	生物科学科	3年	大下 真碩
生命工学部	健康栄養科学科	3年	藤谷 歩弥
生命工学部	海洋生物科学科	3年	谷村 翔太
薬学部	薬学科	3年	上野 侑羅
経済学部	経済学科	4年	上田 歩
経済学部	国際経済学科	4年	横路 健伸
経済学部	税務会計学科	4年	長島 武駿
人間文化学部	心理学科	4年	黒簀 妃夏
人間文化学部	メディア・映像学科	4年	廣川 依歩希
工学部	電気電子工学科	4年	川上 翔大
工学部	建築学科	4年	藤田 柚葉
工学部	情報工学科	4年	神田 雅人
工学部	機械システム工学科	4年	高田 真伸
生命工学部	生物科学科	4年	鳥越 秀美
生命工学部	海洋生物科学科	4年	三好 華乃
薬学部	薬学科	4年	坂元 瑠璃
薬学部	薬学科	5年	井上 結菜

研究活動

2024年度 科学研究費助成事業

★研究種目

◎研究代表者氏名・所属・職名・(研究期間)
研究課題・(2024年度交付金額)

★学術変革領域研究A

- ◎重永 章 薬学部 教授 (2024年～2025年度)
ポリスルフィドミックスの拡張を可能とする新規タンパク質ラベル化試薬の創成 (180万円)

★基盤研究B

- ◎洞ヶ瀬真人 人間文化学部 准教授 (2022年～2024年度)
環境汚染と映像の詩学—公害に向き合った映像の記録と表現についての研究 (220万円)
- ◎藤谷 秀雄 工学部 教授 (2022年～2024年度)
建物の振動制御構造の減衰性能評価に基づくロバスト性向上 (170万円)

★基盤研究C

- ◎張 楓 経済学部 教授 (2022年～2025年度)
近現代日本における分散型生産組織の類型的把握：ラジコン模型航空機産業を事例に (80万円)
- ◎青木 美保 人間文化学部 教授 (2020年～2024年度)
作家の文学形成と「地方同学コミュニティ」の研究—井伏・高田と宮沢賢治の場合— (130万円)
- ◎赤澤 淳子 人間文化学部 教授 (2024年～2027年度)
青年期の児童養護施設入所児童を対象とした性暴力予防プログラムの開発と効果検証 (80万円)
- ◎赤澤 淳子 人間文化学部 教授 (2021年～2024年度)
児童養護施設入所児童を対象とした子ども間の性暴力予防プログラムの開発と効果検証
<最終年度補助事業期間延長中> (0円)
- ◎松本 明生 人間文化学部 准教授 (2022年～2024年度)
相談利益に着目した学生相談への援助要請態度の向上を図る取り組みに関する研究 (30万円)
- ◎岩崎真梨子 人間文化学部 准教授 (2022年～2026年度)
発達障害者のコミュニケーション支援システムの開発 (10万円)
- ◎寺田 和永 人間文化学部 准教授 (2022年～2024年度)
PBISの日本型モデルの作成とその効果検討 (40万円)
- ◎金平 希 人間文化学部 講師 (2022年～2025年度)
母子の情緒交流支援をみすえた実証的アセスメント法の開発：発達障害児と母親への応用 (40万円)
- ◎佐藤 圭一 工学部 教授 (2020年～2024年度)
蘭草栽培を通じた備後表の生産・流通・設計・施工プロセスの解明 (70万円)
- ◎山之上 卓 工学部 教授 (2021年～2024年度)
WikiとBotを使ったIoTシステムの管理運営の負担軽減に関する研究
<最終年度補助事業期間延長中> (0円)
- ◎池岡 宏 工学部 教授 (2024年～2026年度)
アオリ光学距離推定におけるBPF絞りの新たな開口形状の検討と用途別最適化手法の確立 (110万円)
- ◎池岡 宏 工学部 教授 (2021年～2024年度)
可視光から近赤外光域における波長分散とBPF絞りを用いたアオリ撮像による距離推定
<最終年度補助事業期間延長中> (0円)
- ◎谷口 億宇 工学部 教授 (2022年～2025年度)
天体での核融合反応率の微視的原子核模型による評価 (70万円)
- ◎佐々木伸子 工学部 准教授 (2024年～2027年度)
通常学校における不登校・発達障害児の受け入れに必要な施設環境と適応調整方法の解明 (100万円)
- ◎伊澤 康一 工学部 准教授 (2024年～2026年度)
ZEB実現のための自然エクセルギー利用暖冷房・換気システムの最適設計の検討 (180万円)
- ◎中東 潤 工学部 准教授 (2022年～2024年度)
水素新機能による生体・医療用チタン合金のナノ組織化と歯科補綴物への応用 (40万円)
- ◎佐藤 淳 生命工学部 教授 (2022年～2026年度)
糞中DNAから哺乳類の食性を解明する基盤の確立 (60万円)
- ◎田中 憲司 生命工学部 教授 (2023年～2025年度)
瀬戸内海の藻場生態系を維持する流れ藻の役割 (100万円)

- ◎吉崎 隆之 生命工学部 准教授 (2022年～2025年度)
酵母による赤ワインの色調増強に関わる技術基盤の確立 (40万円)
- ◎真田 誠至 生命工学部 准教授 (2024年～2026年度)
水族館展示を活用した水界の視覚化と学習教材の開発 (90万円)
- ◎泉 貴人 生命工学部 講師 (2024年～2026年度)
日本産ニューストーン性ヒドロ虫の系統地理-"帆"の有無は種分化まで左右するのか (150万円)
- ◎竹田 修三 薬学部 教授 (2024年～2026年度)
脂肪酸アナログ有機フッ素化合物による乳がん悪性化の分子機構 (110万円)
- ◎重永 章 薬学部 教授 (2024年～2026年度)
コンディショナルプロテオミクスの課題を克服するラジカル再結合型ラベル化試薬の創出 (130万円)
- ◎今 重之 薬学部 教授 (2023年～2025年度)
自己免疫疾患におけるトロンビン切断型ネフロネクチンと受容体との相互作用の機能解明 (120万円)
- ◎佐藤 雄己 薬学部 教授 (2024年～2026年度)
神経内分泌ペプチドに着目したクロザピン副作用バイオマーカー開発と漢方治療への応用 (120万円)
- ◎木平 孝高 薬学部 教授 (2023年～2025年度)
腎虚血灌流におけるグルタチオン分解酵素を介したアポトーシス制御の役割 (120万円)
- ◎大西 正俊 薬学部 准教授 (2023年～2025年度)
脳出血後のキヌレニン経路の変動と抑うつ発症の関連性 (100万円)
- ◎前原 昭次 薬学部 准教授 (2023年～2025年度)
COVID-19治療薬を目指した薬用植物エンドファイト培養エキス中の抗SARS-CoV-2活性物質 (70万円)
- ◎松岡 浩史 薬学部 准教授 (2024年～2026年度)
核内受容体の作動性リガンドの探索と動脈硬化治療への応用 (110万円)
- ◎渡邊 正知 薬学部 准教授 (2023年～2025年度)
虚血再灌流障害に対する低体温誘導SUMO化修飾を介した血液脳関門保護機構の解明 (130万円)
- ◎本田真知子 薬学部 助手 (2023年～2025年度)
非アルコール性脂肪肝疾患における細胞外基質ネフロネクチンとその翻訳後修飾の役割 (130万円)
- ★若手研究**
- ◎田中 征史 経済学部 講師 (2024年～2026年度)
機械化が賃金格差と経済成長に及ぼす影響：労働供給面からのアプローチ (100万円)
- ◎佐野 穂先 経済学部 講師 (2021年～2024年度)
グローバル化による生産要素の移動が労働市場に与える影響の理論的研究
<最終年度補助事業期間延長中> (0円)
- ◎中島 学 人間文化学部 教授 (2024年～2025年度)
立ち直り支援におけるソーシャルサポート体制構築に向けた実態調査 (130万円)
- ◎枝廣 和憲 人間文化学部 准教授 (2021年～2024年度)
Good Behaviorチケットを用いた学校と家庭をつなぐ支援プログラムの開発 (70万円)
- ◎中野 美奈 人間文化学部 准教授 (2022年～2024年度)
長時間瞑想に頼らない職場のマインドフルネス・オンラインプログラム (90万円)
- ◎森 朱美 人間文化学部 准教授 (2021年～2024年度)
犯罪捜査のためのポリグラフ検査におけるアーチファクト検出システムの開発 (50万円)
- ◎古内絵里子 人間文化学部 講師 (2022年～2024年度)
東アジア都城の形態と支配構造に関する比較研究—中国北朝・朝鮮半島・日本の都城から (50万円)
- ◎安藤 孟梓 人間文化学部 講師 (2023年～2025年度)
性的少数者に対する認知行動的アプローチの効果検証 (80万円)
- ◎山田 直子 生命工学部 講師 (2024年～2026年度)
中学生・高校生の睡眠や健康問題に資するための食事時間の背景要因の検討 (70万円)
- ◎石塚真太郎 生命工学部 講師 (2022年～2025年度)
父系社会の中でメスはどのように集団間移籍するのか？—近親交配リスクの変異から探る (80万円)
- ◎喜屋武龍二 薬学部 助教 (2024年～2025年度)
触媒的アミノ酸側鎖重水素化反応を起点とした重水素が形成する相互作用体系化への挑戦 (250万円)
- ◎番匠谷研吾 薬学部 助教 (2024年～2026年度)
脳腫瘍における機能性高分子を利用した中性子捕捉療法のための新規ホウ素薬剤の開発 (120万円)

学校法人福山大学 鈴木 省三理事長は、令和5年度日本私立大学協会中国・四国支部秋季総会において日本私立大学協会中国・四国支部役員（監事）（任期：令和6年4月1日～令和10年3月31日）に再任され、日本私立大学協会第160回総会において日本私立大学協会役員（理事）（任期：令和6年4月1日～令和10年3月31日）に再任されました。

学 内 人 事

【法人役員】

◎再任
副理事長・常務理事 尾崎 史郎
副理事長 富士 彰夫
理事 岡崎 文憲
理事 鶴田 泰人
理事 川久保 和雄
理事 平 伸二
理事 蘭 頭里 美史
理事 吉留 義史
理事 光波 祥二郎
監事 山本 昭人
(以上5月27日付)

【教員】

◎名誉教授称号授与
前 工学部 教授 大島 秀明
前 工学部 教授 田辺 和康
前 薬学部 教授 石津 隆
(以上4月1日付)

◎就任(役職関係)
副学長 伊丹 利明
学長補佐 満谷 淳
経済学部長補佐 平田 宏二
経済学部経済学科長 佐藤 彰三
経済学部国際経済学科長 早川 達二
人間文化学部人間文化学科長 重迫 隆司
人間文化学部心理学科長 中島 和広
人間文化学部メディア・映像学科長 筒本 直己
工学部電気電子工学科長 香川 博行
生命工学部生物学科長 岩本 安至
生命工学部健康栄養科学科長 菊田 伸二
研究推進委員会委員長 平谷 淳行
長期ビジョン委員会副委員長 岩本 博行
社会連携センター副センター長 伊丹 利明
国際センター長 張 楓
備後圏域経済・文化研究センター長 柳川 真由美
備後圏域経済・文化研究センター副センター長
安全安心防災教育研究センター副センター長
津田 将行
グリーンサイエンス研究センター長 佐藤 淳
教務委員会委員長 満谷 淳
教職課程委員会副委員長 今井 航章
入試委員会副委員長 重永 章
大学入学共通テスト委員会実施委員長 太田 雅也
大学入学共通テスト委員会実施副委員長 内垣 戸貴之
女子学生寮寮監 半田 由佳
(以上4月1日付)

◎退任(役職関係)
人間文化学部心理学科長 山崎 理央
人間文化学部メディア・映像学科長 安田 暁
工学部スマートシステム学科長 香川 直己
生命工学部生物工学科長 岩本 博行
生命工学部生命栄養科学科長 菊田 安至
社会連携センター副センター長 道原 明宏
備後圏域経済・文化研究センター長 青木 美保
備後圏域経済・文化研究センター副センター長 張 楓
安全安心防災教育研究センター副センター長
都 祭 弘 幸
グリーンサイエンス研究センター長 岩本 博行
入試委員会副委員長 赤崎 健
大学入学共通テスト委員会実施委員長 三川 敦
大学入学共通テスト委員会実施副委員長 太田 雅也
(以上3月31日付)

◎定年退職
生命工学部 教授 石井 香代子
生命工学部 教授 満谷 淳
生命工学部 教授 三輪 泰彦
薬学部 教授 田 哲郎
薬学部 助手 伊中 達有子
(以上3月31日付)

◎退職
経済学部 教授 上林 篤幸
経済学部 准教授 関下 弘樹
経済学部 講師 白 映史
経済学部 講師 藤本 倫至
経済学部 講師 藁谷 亮
人間文化学部 准教授 村上 希
人間文化学部 助手 伊藤 有希
生命工学部 教授 田中 信一郎
生命工学部 教授 原口 博加
生命工学部 助手 山本 沙也加
薬学部 講師 番匠 谷紗知
(以上3月31日付)

◎任期満了
経済学部 教授 北浦 孝行
人間文化学部 教授 小原 友行
人間文化学部 教授 竹村 信治
人間文化学部 助手 柏原 由貴乃
生命工学部 助手 豊村 晃丞
薬学部 准教授 猿橋 裕子
大学教育センター 准教授 竹盛 浩二
(以上3月31日付)

◎再雇用期間満了
工学部 教授 大島 秀明
工学部 教授 田辺 和康
薬学部 教授 石津 隆
(以上3月31日付)

◎昇任
経済学部 教授 吉田 卓史
人間文化学部 教授 柳川 真由美
生命工学部 教授 阪本 憲司
生命工学部 准教授 真田 誠至
薬学部 教授 木平 孝高
大学教育センター 教授 劉 国彬
(以上4月1日付)

◎兼任
(兼)大学教育センター 教授 吉田 卓史
(兼)大学教育センター 教授 安田 暁
(兼)大学教育センター 准教授 市原 晋平
(兼)大学教育センター 准教授 真田 誠至
(兼)内海生物資源研究所 教授 阪本 憲司
(兼)内海生物資源研究所 准教授 真田 誠至
(兼)安全安心防災教育センター 教授 香川 直己
(兼)安全安心防災教育センター 教授 歌 昌弘
(兼)安全安心防災教育センター 教授 都 祭 弘幸
(兼)安全安心防災教育センター 教授 加藤 昌彦
(兼)IR室 教授 山本 覚高
(兼)IR室 教授 木平 孝高
(兼)グリーンサイエンス研究センター 教授 岩本 博行
(兼)グリーンサイエンス研究センター 教授 伊丹 利明
(兼)グリーンサイエンス研究センター 教授 阪本 憲司
(兼)備後圏域経済・文化研究センター 教授 青木 美保
(以上4月1日付)

◎免兼任
(兼)共同利用センター 助教 中村 雅樹

(兼)安全安心防災教育センター 教授 池岡 宏
 (兼)安全安心防災教育センター 准教授 津田 将行
 (兼)グリーンサイエンス研究センター 教授 佐藤 淳
 (兼)備後圏域経済・文化研究センター 准教授 柳川 真由美
 (以上3月31日付)

◎採用

経済学部 教授 平田 宏二
 経済学部 教授 佐藤 彰三
 経済学部 教授 賀敏 敏之
 経済学部 講師 佐野 徳先
 経済学部 講師 山下 陽平
 経済学部 講師 北村 友宏
 経済学部 講師 戸村 貴史
 人間文化学部 教授 中嶋 健明
 人間文化学部 准教授 寺田 和永
 人間文化学部 准教授 市原 晋平
 人間文化学部 准教授 岩崎 真梨子
 人間文化学部 講師 岡田 翔平
 人間文化学部 講師 両角 遼平
 人間文化学部 講師 反田 智之
 人間文化学部 助手 宗田 直子
 工学部 教授 水師 葉月
 工学部 教授 藤谷 秀雄
 工学部 講師 谷口 億宇
 工学部 助教 大畑 友紀
 生命工学部 教授 上野 貴弘
 生命工学部 教授 宮田 明
 生命工学部 教授 伊丹 利明
 生命工学部 講師 石井 香代子
 生命工学部 講師 我如 古菜月
 生命工学部 助手 石塚 真太郎
 生命工学部 助手 桜井 奏慧
 生命工学部 助手 山崎 彩佳
 生命工学部 助手 山崎 真優
 大学教育センター 准教授 井上 真泰
 薬学部 助教 半田 由佳
 薬学部 助教 喜屋 武龍
 薬学部 助教 志摩 亜季
 (以上4月1日付)

◎再雇用

生命工学部 教授 満谷 淳
 生命工学部 教授 三輪 泰彦
 薬学部 教授 田中 哲郎
 薬学部 助手 伊達 有子
 (以上4月1日付)

◎客員教授

経済学部 田中 秀征
 経済学部 平山 亮
 工学部 横井 一仁
 工学部 長岡 正芳
 薬学部 菅 奈美
 大学院工学研究科 西田 友是
 (以上4月1日付)

◎特任教授

生命工学部 原口 博行
 (4月1日付)

◎客員研究員

大学教育センター 王 報平
 (4月1日付)

◎特命講師

大学教育センター 向井 勝也
 (4月1日付)

【職員】

◎定年退職
 入試広報室 事務統括参事 松岡 哲衛
 入試広報室 参事 安原 宏成
 薬学部事務室 事務統括参事 皿谷 英敏
 (以上3月31日付)

◎昇任

総務部企画・文書課長 松永 大輝

経理部用度1課専門員 安藤 拓人
 (兼)経理部用度2課専門員
 学務部教務課専門員 村山 尚之
 入試広報室係長 道上 真弥
 (兼)学校法人福山大学入試広報室係長 横山 達哉
 入試広報室係長 藤原 由衣
 (兼)学校法人福山大学入試広報室係長 喜多村 佑佳
 経理部経理2課係長 廣田 佑司
 (兼)経理部経理1課係長
 附属図書館係長(司書)
 経理部用度2課主任 川崎 麻奈美
 (兼)経理部用度1課主任 尾崎 元
 薬学部事務室主任 尾崎 元
 学務部教務課主任
 (以上4月1日付)

◎配置換

学務部長 齊藤 孝
 経済学部・人間文化学部事務室事務長(副部長待遇) 明石 麻由子
 学務部学生課参事 藤原 紀子
 経理部経理1課主任 中本 祐人
 (兼)経理部経理2課主任
 工学部・生命工学部事務室主任 木村 友哉
 経理部付技能主任(環境整備担当) 阪田 信広
 (以上4月1日付)

◎兼務

(兼)学校法人福山大学財務部経理担当 片山 友数
 (兼)学校法人福山大学監査室員 栗根 智恵
 (兼)学校法人福山大学財務部経理担当
 (兼)学校法人福山大学監査室員 宇野 友彦
 (兼)学校法人福山大学監査室員
 (以上4月1日付)

◎免兼務

(兼)学校法人福山大学監査室員 伊藤 日登志
 (兼)学校法人福山大学監査室員 明石 麻由子
 (兼)学務部長 大高 弘士
 (兼)総務部企画・文書課長 矢崎 雅之
 (兼)学校法人福山大学入試広報室入試企画係長 村山 尚之
 (兼)経済学部・人間文化学部事務室事務長 齊藤 孝
 (以上3月31日付)

◎採用

学校法人福山大学参与 岡崎 文憲
 (兼)参事
 学校法人福山大学特別参事 平山 亮
 学校法人福山大学特別参事 藤野 肇
 入試広報室統括参事 和田 照文
 (兼)学校法人福山大学入試広報室統括参事 増井 誠徳
 入試広報室参事 (兼)学校法人福山大学入試広報室参事 児玉 英史
 入試広報室参事 (兼)学校法人福山大学入試広報室参事 安原 宏成
 入試広報室参事 (兼)学校法人福山大学入試広報室参事 仲座 禎久
 (兼)学校法人福山大学入試広報室参事
 総務部企画・文書課事務職員 中林 大貴
 広報部事務職員 廣瀬 健人
 内海生物資源研究所技術職員 得能 穰
 内海生物資源研究所技術職員 柿内 俊二
 学務部副部長 山成 光俊
 学務部学生課事務職員 小川 美咲
 附属図書館主任(司書) 吉津 悠子
 (以上4月1日付)

◎再雇用

入試広報室参事 松岡 哲衛
 (兼)学校法人福山大学入試広報室参事 皿谷 英敏
 薬学部事務室参事
 (以上4月1日付)

◎学校法人福山大学社会連携推進センター長

山口 昌宏
 (4月1日付)

令和5年度 学校法人福山大学財務状況

資金収支計算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)(単位:円)

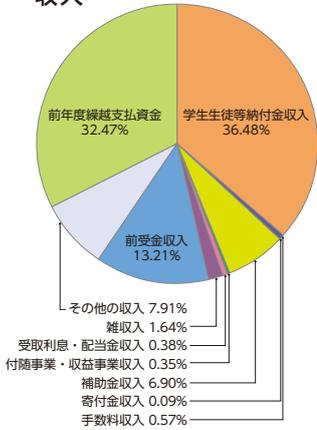
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,336,857,164	人件費支出	3,943,602,214
手数料収入	83,509,898	教育研究経費支出	2,432,716,502
寄付金収入	12,895,294	管理経費支出	317,386,953
補助金収入	1,010,267,371	借入金等利息支出	3,837,145
資産売却収入	0	借入金等返済支出	47,760,000
付随事業・収益事業収入	50,898,144	施設関係支出	779,255,715
受取利息・配当金収入	56,180,981	設備関係支出	149,071,100
雑収入	239,815,897	資産運用支出	3,906,336,450
借入金等収入	0	その他の支出	2,486,189,227
前受金収入	1,932,641,420	資金支出調整勘定	△ 91,227,553
その他の収入	7,433,768,110		
資金収入調整勘定	△ 2,388,202,431	翌年度繰越支払資金	4,544,858,784
前年度繰越支払資金	4,751,154,689	支出の部合計	18,519,786,537
収入の部合計	18,519,786,537		

事業活動収支計算書

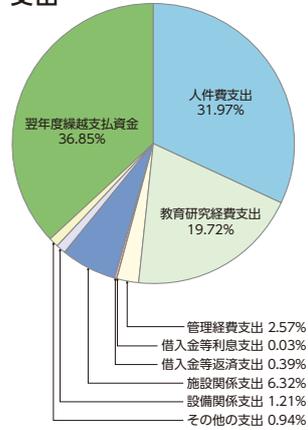
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)(単位:円)

科目	金額
教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	5,336,857,164
手数料	83,509,898
寄付金	12,975,294
経常費等補助金	995,635,741
付随事業収入	50,898,144
雑収入	239,823,657
教育活動収入計	6,719,699,898
事業活動支出の部	
人件費	3,936,356,873
教育研究経費	3,387,728,970
管理経費	374,697,587
徴収不能額等	0
教育活動支出計	7,698,783,430
教育活動収支差額	△ 979,083,532
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	60,504,863
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	60,504,863
事業活動支出の部	
借入金等利息	3,837,145
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	3,837,145
教育活動外収支差額	56,667,718
経常収支差額	△ 922,415,814
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	0
その他の特別収入	20,512,262
特別収入計	20,512,262
事業活動支出の部	
資産処分差額	2,126,719
その他の特別支出	0
特別支出計	2,126,719
特別収支差額	18,385,543
基本金組入前当年度収支差額	△ 904,030,271
基本金組入額合計	△ 11,339,691
当年度収支差額	△ 915,369,962
前年度繰越収支差額	3,127,930,192
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	2,212,560,230
(参考)	
事業活動収入計	6,800,717,023
事業活動支出計	7,704,747,294

収入



支出



上記のグラフは次のとおり調整しています。

- ① 資金収入・資金支出調整勘定を除外
- ② その他の収入・資産運用支出・その他の支出のうち、資産運用・預り金・仮払金に係るものは収入と支出を相殺

資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていないかもしれませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目の説明

収入の部

学生生徒等納付金収入	授業料、入学金、実験実習料等の収入
手数料収入	入学検定料、休学者在籍料、各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金収入	金銭及びその他の資産を寄贈者から贈与された収入
補助金収入	国または地方公共団体から交付される補助金収入
資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却による収入
付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業および収益事業による収入
受取利息・配当金収入	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
借入金等収入	返済期限が貸借対照日後1年を超えて到来する長期借入金と1年内の短期借入金及び学校債の発行による収入
前受金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収入したものの
その他の収入	上記以外の収入で、各種特定資産の取崩収入及び預り金等の収入
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入ですが、資金の収入が当年度中に行われず、前年度以前または翌年度以降となる項目を調整する勘定科目

支出の部

人件費支出	教職員人件費、役員報酬、退職金に係る支出
教育研究経費支出	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出
管理経費支出	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出
借入金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出
施設関係支出	土地、建物、構築物等の固定資産の取得に係る支出
設備関係支出	機器備品、図書、車両等の取得に係る支出
資産運用支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得に係る支出
その他の支出	上記以外の支出で、前払金、仮払金等に係る支出
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出であるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは、翌年度以降になるもの

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、毎会計年度の3つの活動(教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動)に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。

科目の説明

事業活動収入の部

学生生徒等納付金	授業料、入学金、実験実習料等の収入
手数料	入学検定料、休学者在籍料、各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金	資金収支の寄付金収入に現物寄付を加えた額(施設設備に係る寄付金は除く)
経常費等補助金	国や地方公共団体から交付される補助金収入(施設設備に係る補助金は除く)
付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
受取利息・配当金	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
その他の教育活動外収入	収益事業等からの収入
資産売却差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を超えた場合の超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、補助金及び過年度修正額による収入

事業活動支出の部

人件費	教職員人件費、役員報酬、退職金に退職給与引当金繰入額を加えたもの
教育研究経費	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出に減価償却額を加えたもの
管理経費	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出に減価償却額を加えたもの
徴収不能額等	前年度以前に計上した未収入金等で、当年度において回収不能と判断した額
借入金等利息	借入金及び学校債の利息に係る支出
その他の教育活動外支出	為替差損等に係る支出
資産処分差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を下回った場合の差額及び資産を売却した場合の除却損
その他の特別支出	災害損失及び過年度修正額に係る支出

その他の項目

基本金組入前当年度収支差額	当年度における教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の全ての収入と支出の差額
基本金組入額合計	第1号基本金から第4号基本金の当年度組入額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除した当年度の収支差額
前年度繰越収支差額	前年度までの累積収支差額
基本金取崩額	基本金を取り崩した場合の額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額と基本金取崩額を加えた額で翌年度に繰り越す収支差額
事業活動収入計	当年度の事業活動収入の合計
事業活動支出計	当年度の事業活動支出の合計

貸借対照表

(令和6年3月31日) (単位: 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	56,592,472,396	固定負債	1,805,655,001
有形固定資産	30,792,743,396	長期借入金	120,510,000
土地	6,890,160,619	退職給与引当金	1,626,371,341
建物	15,158,290,652	長期未払金	58,773,660
構築物	789,169,910	流動負債	2,198,436,173
教育研究用機器備品	2,292,615,490	短期借入金	47,760,000
管理用機器備品	28,802,826	未払金	93,608,125
図書	4,940,849,864	前受金	1,932,641,420
車両	8,030,725	預り金	124,426,628
船舶	9,012,310	負債の部合計	4,004,091,174
建設仮勘定	675,811,000		
特定資産	25,763,147,304	純資産の部	
第2号基本金引当特定資産	1,400,000,000	科目	金額
退職給与引当特定資産	1,626,371,341	基本金	55,245,220,805
減価償却引当特定資産	15,203,234,423	第1号基本金	53,357,220,805
校舎建設等引当特定資産	3,425,757,976	第2号基本金	1,400,000,000
創設準備引当特定資産	4,107,783,564	第4号基本金	488,000,000
その他の固定資産	36,581,696	繰越収支差額	2,212,560,230
電話加入権	3,048,426	翌年度繰越収支差額	2,212,560,230
施設利用権	600	純資産の部合計	57,457,781,035
保証金	33,316,670		
敷金	216,000	負債及び純資産の部合計	61,461,872,209
流動資産	4,869,399,813		
現金預金	4,544,858,784		
未収入金	211,984,531		
有価証券	81,363,520		
前払金	31,175,598		
仮払金	17,380		
資産の部合計	61,461,872,209		

貸借対照表

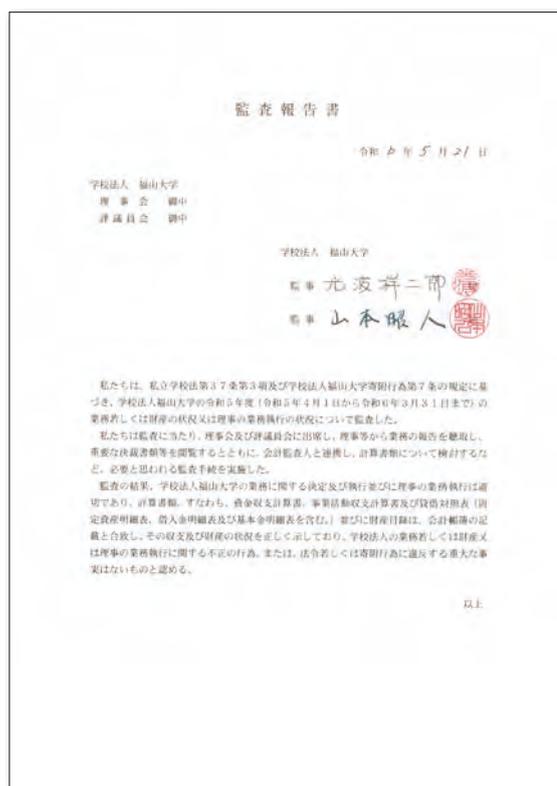
貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)の状況を示すものです。資金収支計算書と事業活動収支計算書が半年度の収支を示すのに対して、貸借対照表はこれまでの財務状況の積み重ねを示しています。

資産の部	
固定資産	次の有形固定資産、特定資産、その他の固定資産の合計
有形固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する有形の資産で、土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車輛等
特定資産	基本金引当特定資産及び各種引当特定資産
その他の固定資産	電話加入権、施設利用権、有価証券等
流動資産	現金預金、未収入金、貯蔵品等
負債の部	
固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
純資産の部	
基本金	学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れた金額で、第1号基本金から第4号基本金があります
第1号基本金	教育活動を行うために取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産の取得に充てる金銭及びその他の資産の額
第3号基本金	奨学金等の基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭及びその他の資産の額
第4号基本金	恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額
繰越収支差額	累積の収支状況を示しており、事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額と一致します

財産目録

(令和6年3月31日) (単位: 円)

一 資産額		30,792,743,396
1. 基本財産		30,792,743,396
土地	338,143 m ²	6,890,160,619
建物	152,467 m ²	15,158,290,652
構築物		789,169,910
教育研究用機器備品	4,438 点	2,292,615,490
管理用機器備品	203 点	28,802,826
図書	457,815冊	4,940,849,864
車両	31 台	8,030,725
船舶	2 艇	9,012,310
建設仮勘定		675,811,000
2. 運用財産		30,669,128,813
現金預金		4,544,858,784
第2号基本金引当特定資産		1,400,000,000
退職給与引当特定資産		1,626,371,341
減価償却引当特定資産		15,203,234,423
校舎建設等引当特定資産		3,425,757,976
創設準備引当特定資産		4,107,783,564
電話加入権		3,048,426
施設利用権		600
保証金		33,316,670
敷金		216,000
未収入金		211,984,531
有価証券		81,363,520
前払金		31,175,598
仮払金		17,380
資産総額		61,461,872,209
二 負債額		
1. 固定負債		1,805,655,001
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団	120,510,000
退職給与引当金		1,626,371,341
長期未払金		58,773,660
2. 流動負債		2,198,436,173
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団	47,760,000
未払金		93,608,125
前受金		1,932,641,420
預り金		124,426,628
負債総額		4,004,091,174
正味財産(資産総額-負債総額)		57,457,781,035



令和7（2025）年度 入学者選抜の概要

令和7（2025）年度入学者選抜の日程は次のとおりです。その他、指定校推薦型選抜を実施しています。

◆入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日
総合型選抜(一般) 第Ⅰ期	(エントリーシート提出期間) 令和6(2024)年 8月 9日(金) ～ 8月21日(水) (必着)	令和6(2024)年10月17日(木)	令和6(2024)年11月 1日(金)
総合型選抜(一般) 第Ⅱ期	(エントリーシート提出期間) 令和6(2024)年 9月26日(木) ～ 10月 4日(金) (必着)	令和6(2024)年11月25日(月)	令和6(2024)年12月 2日(月)
公募推薦型選抜A日程 《試験日自由選択制》	令和6(2024)年 11月 1日(金) ～ 11月 6日(水) (消印有効)	令和6(2024)年11月12日(火) 令和6(2024)年11月13日(水)	令和6(2024)年12月 2日(月)
公募推薦型選抜B日程	令和6(2024)年 11月21日(木) ～ 12月10日(火) (消印有効)	令和6(2024)年12月14日(土)	令和6(2024)年12月18日(水)
一般選抜前期A日程 《試験日自由選択制》	令和7(2025)年 1月 6日(月) ～ 1月24日(金) (消印有効)	令和7(2025)年 1月31日(金) 令和7(2025)年 2月 1日(土) 令和7(2025)年 2月 2日(日) 令和7(2025)年 2月 3日(月)	令和7(2025)年 2月 7日(金)
一般選抜前期B日程	令和7(2025)年 2月 5日(水) ～ 2月17日(月) (消印有効)	令和7(2025)年 2月21日(金)	令和7(2025)年 2月27日(木)
一般選抜後期日程	令和7(2025)年 2月25日(火) ～ 3月 4日(火) (消印有効)	令和7(2025)年 3月 8日(土)	令和7(2025)年 3月12日(水)
大学入学共通テスト 利用選抜 前期	令和7(2025)年 1月 6日(月) ～ 1月24日(金) (消印有効)	個別学力試験は課しません	学生募集要項をご確認ください
大学入学共通テスト 利用選抜 後期	令和7(2025)年 2月25日(火) ～ 3月 4日(火) (消印有効)	個別学力試験は課しません	令和7(2025)年 3月12日(水)

※《試験日自由選択制》とは、上記試験日の中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。

志願者は、同一学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。

◇入学金減免制度について◇

福山大学及び福山平成大学の同窓生の子女及び兄弟姉妹並びに在学生の兄弟姉妹及び子女に対して、就学時の経済的支援のため入学諸納付金の一部（入学金）を減免する制度を実施しています。同窓生の子女及び兄弟姉妹並びに在学生の兄弟姉妹及び子女とは、入学者の親、兄弟、姉妹のいずれかが福山大学及び福山平成大学の卒業生又は在学生（留学生は除きます）のことで。

◇入学検定料、入学金及び授業料に関する支援措置について◇

地震・豪雨等により災害救助法が適用された地域において被災された方に対して、申請に基づき、公募推薦型選抜・一般選抜の受験生に対する入学検定料、入学金及び授業料に関する特別措置を行っています。

詳しくは、入試広報室へお問い合わせ下さい。（TEL：084-936-0521， e-mail：kouhou@fukuyama-u.ac.jp）

編集後記

卒業生からのコメントは、新入生だけでなくその他の在学生にとっても非常に有益なものになることでしょう。加えて、先生方からも新入生に向けた温かいお言葉もいただきました。長いようで短い学生時代をしっかりサポートできるよう、今後も福山大学では教育環境および研究環境を学生目線で整備・提供するとともに、その様子については引き続き学報を通じて発信してまいります。

発行 福山大学

編集 福山大学広報委員会

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<https://www.fukuyama-u.ac.jp>